



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

世界のギノザンチュ研修生との交流会

10月23日(火)4校時、世界のギノザンチュ研修生の石川 トリー(アメリカ合衆国 ハワイ州)、リリアン チェミ(ブラジル)、伊盛 ナタリア 真奈美(アルゼンチン)、ノルリー レット(ペルー)4名の方との交流会を開催しました。

初めに4名の自己紹介があり、その後、それぞれ4ヶ国の紹介がありました。国の位置、人口、動物、食べ物、有名な観光地等の写真を交えながらの紹介に子ども達は、目をキラキラと輝かせながら入るよう聞き入っていました。その後の質問タイムでは、多くの子ども達が次々に質問していました。

その後、3・4・5・6年の教室で、研修生の皆さんといっしょに給食を頂きながら、交流を深めました。



写真1 交流会の様子



写真2 研修生と一緒に



写真3 5年生と一緒に



写真4 6年生と一緒に

交流会を終えての感想(アンケートより)

- 交流会で1番びっくりしたことは、日本みたいに学校が3学期制でない国や授業時間が違う国など、それぞれが違っていることです。また、日本の学校にはない、宗教の授業があるという国もあることもわかりました。宗教という授業がどんなふうに行われているのか、知りたくなりました。(5年生)
- 世界には、宜野座村出身の方々の子孫(2世や3世等)がいて、ブラジルやアルゼンチン、ペルーやハワイにも沖縄の食べ物や日本の食べ物があることがすごいと思いました。(5年生)
- ペルーやハワイなど、それぞれの国や地域で、食べ物や暮らし方に違いがあり、これからは外国語の勉強を通して、いろいろなことを知りたくなりました。(5年生)